

登録コード:MH306400 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	理学療法管理学【20M～24M】 Physical Therapy Mamegement			
担当教員	百瀬 公人			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	理学療法学専攻/4学年 後期(前半) 水曜・1時限 水曜・2時限			
単位数、講義室	2単位	保健学科111講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。		保健、医療、福祉の現場において他の専門職と協働して理学療法部門及びリハビリテーション部門を管理する知識を身に着ける	
	MH25カリ・保健・理学、MH23カリ・保健・理学			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		理学療法の観点だけでなく、リハビリテーション、病院、施設の立場から考えることのできる能力を身に着ける	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		管理者の視点で、課題を見つけ、それに対する解決方法を考える力を身に着ける	
授業で学べる「テーマ」	地域運営、健康長寿、キャリア			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	本授業は、理学療法部門及びリハビリテーション部門の管理の必要性を理解し、その実際の方法について学修します。 本授業は、1年次に学修した「理学療法概論」、3年次の「臨床基礎実習」、4年次前期の臨床実習・・・の知識を前提に、臨床現場における管理を学ぶことになります。 また、4年後期の「チーム医療演習」と相補的に学んでいくことになります。 本授業は、担当教員の理学療法部門及びリハビリテーション部門における理学療法士および研究者としての実務経験を活かして講義を行います。			
授業計画	第1回 (9月30日) 社会保障制度・職業倫理 第2回 (10月7日) リハビリテーション管理の実際 第3回 (10月21日) 業務管理 第4回 (10月28日) 連携・専門職団体(林長野県理学療法士会長) 第5回 (11月4日) 質保証とリスクマネジメント 第6回 (11月11日) 管理の実際 第7回 (11月18日) 卒前・卒後教育・授業アンケート 第8回 (11月25日) 期末試験(全体)			
授業の進め方	授業は講義形式です。 試験の範囲は授業で解説したところだけでなく、教科書の全範囲から出題します。			
テキスト、教材、参考書	リハビリテーション管理学 医学書院			
成績評価の方法	毎回の講義の小テスト30%、レポート40%、期末試験30%を総合して判定します。			
成績評価の基準	小テスト、レポート、期末試験の結果をもとに、次の基準で評価します。 秀(90-100点): 授業の達成目標水準から見て卓越している 複雑な応用問題が解ける 優(80-89点): 授業の達成目標水準よりかなり上にある 簡単な応用問題が解ける 良(70-79点): 授業の達成目標水準よりやや上にある 応用知識がある 可(60-69点): 授業の達成目標水準にある 基礎知識がある 不可(0-59点): 授業の達成目標水準より下にある 基礎知識がない			
事前事後学習の内容	事前学習: 予習をして授業内で行われる討論に参加してください 事後学習: 講義内容に対するレポートを作成することで行って下さい 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間15時間(2時間×7.5回) + 自己学習時間30時間(4時間×7.5回) = 45時間			
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問・相談への対応: 百瀬 公人 オフィスアワーとメールアドレス: 研究室は南校舎4階です。月曜日12時～13時、kmomose@shinshu-u.ac.jp			